



9月に収穫を迎えるゴマ畑(星野貴洋さん(右))



ゴマの実

可憐なゴマの花



ぎっしり実がつまったトウモロコシ



青々とした枝豆

市長の事業者訪問

FACE to FACE 15

星野 貴洋さん(星野農園)

所在地/渡戸3-7-46

渡戸3丁目にある星野農園は、カブ、枝豆、トウモロコシ、ゴマなどを栽培しています。家族経営が多い農業にあって、従業員を雇用して農業経営を行う星野貴洋さんに、農業経営に取り組む想いなどを伺いました。

農業経営で生計を立てる

「自然を相手にするため、農業の収入だけで生計を立てるのはすごく難しいんです」と貴洋さんは語ります。星野農園では、現在、35種類ほどの野菜を栽培しています。出荷先のニーズに応えるため種類が増えていき、市内で2件しか行っていないゴマの栽培もその一つですが、利益が出る農業経営に取り組んでいます。「お店で売られているゴマの約99%は外国産なんです。販売までの行程に手がかかるうえに利益を出すのが難しく、栽培農家は少ないんですよ」。星野農園では、JAいるま野や企業と連携し、販売までの行程を取引先と分担することで利益につなげています。

農業×地域貢献

貴洋さんは、小学校などの収穫体験の受け入れや、子ども大学☆ふじみで、小学生に農業に関する講義を行うなど、さまざまな地域活動もされています。「住宅街で農業を営んでいるからこそ、身近にある農業に子どもたちが触れられる機会を作ってあげたいんです。農業に興味、関心をもってくれたら嬉しいです」と活動に込められた想いを話してくれました。

農業を伝承する使命感

「私が、農業で生計を立てられることを証明することで、就農を選択する人を増やし、これまで引き継がれてきた農業を次世代につないでいきたいです」と抱負を語る貴洋さんは、新たに自慢の農産物を使った漬物の販売を検討しているとのこと。私は、地域の農産物がソウルフードとして皆さんに広く愛されるよう、応援していきたいと考えています。

市公式
ホームページ



SNS



【カタログポケット】広報「富士見」を多言語で



【マイチロ】広報「富士見」をスマートフォンで



【テレ玉データ放送】テレ玉(地デジ3ch)視聴中にdボタンで市の情報を視聴

人口と世帯数(8月1日現在)

人 □…112,955人(前月比 -17人)
(男 55,453人 女 57,502人)
世帯数…54,325世帯(前月比 +7世帯)



富士見市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

広報「富士見」は、市内の公共施設や駅などにも置いてあります。声の広報「富士見」(音声DAS/ディスプレイ)版は市内図書館で貸し出しています(市ホームページで聴くこともできます)。

